

対象国の条件：

研修コース番号：201984912-J002

案件番号：201984912

主分野課題：自然環境保全/持続的森林管理

副分野課題：環境管理/気候変動対策

使用言語：英語

案件概要

JICAはJAXAとの連携の下、開発途上国の森林資源の保全及びそれを通じた生物多様性保全や気候変動対策への貢献を目的とし、違法伐採による森林減少抑制施策に貢献する「熱帯林早期警戒システム（JJ-FAST）」の開発及び人材育成を中心とした「JICA-JAXA熱帯林監視プログラム」を実施している。本システムの活用促進により、森林ガバナンスの改善を目指す「森林ガバナンス改善イニシアティブ」を打ち出し、国際セミナーの開催や気候変動枠組条約締約国会議（COP）を含む国際会議等での発信を強化する。
 本研修は、参加国におけるより効果的な熱帯林保全とそれによるグローバル・レベルの気候変動緩和への貢献を目指し、同イニシアティブの中で開発する熱帯林変化の検出システム「JICA-JAXA熱帯林早期警戒システム（JJ-FAST）」を活用した熱帯林監視を担う行政官の能力向上と、関係者間のネットワーク構築を目指すものである。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

違法伐採対策を含む熱帯林監視のためのJICA-JAXA熱帯林早期警戒システム（JJ-FAST）を活用した自国の熱帯雨林保全のために必要な知識や技術を習得する。

【成果】

- (1) 熱帯林保全のために必要な森林保全やリモートセンシング等技術に関する基本的知識が習得される。
- (2) JJ-FASTの操作に関する技術が習得される。
- (3) JJ-FASTを活用した自国の熱帯雨林監視のために必要な方策や課題が取りまとめられる。

【対象組織】

熱帯雨林の管理を行う省庁・機関（なお、本研修は、衛星技術そのものを習得するコースではない。）

【対象人材】

上記の機関において、当該分野で5年以上の職務経験を持ち、自身の所属する組織において、衛星を用いた森林管理の実務を担い、かつ指導的立場にあるもの。本省 課長（Director）クラス、もしくはそれに準ずる職位（Deputy Director等）を想定。

内 容

【事前活動】 インセプションレポートの作成（熱帯林管理に関する担当業務の現状と課題（特に衛星技術の活用に関する観点から））

【本邦研修】 以下の内容の講義、視察、討論を行う。

- (1) 講義： 森林保全概論、リモートセンシング基本技術概論、合成開口レーダー（SAR）技術概論、だいち2号の比較優位性と他衛星との補完性
- (2) 実習： JJ-FAST活用実習
- (3) 視察： JAXA筑波宇宙センター、森林保全現場
- (4) アクションプラン作成（JJ-FASTを活用した自国の熱帯雨林監視のために必要な方策や課題をとりまとめる。）

本邦研修期間

2019/10～2019/11

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

JICA横浜

関係省庁

実施年度

2017～2019

主要協力機関

一般財団法人リモート・センシングセンター

**特記事項
 及び
 ホームページ**

JJ-FAST ウェブサイト <http://www.eorc.jaxa.jp/jjfast/>